

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用 履歴	異常な行動に関 する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと言っているのか?)	旧資料No				
23	B07003175	5	年	男性	①痙攣 ②異常行動	2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27	10:00 夕	2007/2/24	19:30	○	Yes	—	Yes	No	—	—	No	No	Yes	No	無	2007/02/24(午前)39.8℃で来院。インフルエンザA型と診断。(10:00)本剤内服後就寝。(夕)本剤内服。(19:30)布団から急に立ち上がりカニのように歩き回る。カーテンを開けて外を見、痙攣し倒れた。 2007/02/25 他院に一時入院。入院中も本剤内服継続。 2007/02/26 退院。(午前)37.1℃。朝、本剤内服。(昼過ぎ)37.8℃。「空を飛んで死にたい」と言った。(夜)本剤内服。 2007/02/27(昼過ぎ)再び「死にたい」と発言。37.0℃。 2007/02/28 本剤1日分残っていたが、投与中止。インフルエンザ、異常行動ともに回復。	異-3-18	
24	B07013260	5	年	女性	異常行動	2007/3/12 2007/3/12 2007/3/13 2007/3/13 2007/3/14 2007/3/14 2007/3/15 2007/3/15 2007/3/16 2007/3/16	—	2007/3/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/3/12 本剤投与開始。 2007/3/13 本剤投与2日目に、異常行動(走りまわって壁にぶつかる。表情がおかしい)が発現。 2007/3/16 本剤の投与を中止。		
25	B0013386	6	年	不明	激越	不明	不明	—	—	○	Yes	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	(母親からの連絡)服用した夜、就寝中に暴れた。患者は薬を飲むのが大嫌いで、以前、他剤でも夜間に暴れたことがあったとのこと。	異-1-1	
26	B05021887	6	年	男性	①幻覚 ②激越	2006/1/8 2006/1/9 2006/1/10 2006/1/11 2006/1/12	朝・夕 10:00・夕 朝・夕 朝・夕 朝・夕	2006/1/9	15:50	×	—	—	30分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	No	無	(15:50)幻覚、興奮状態発現。急に意識もうろうとし、「部屋の隅に黒い服を着た人がいる」などと、おびえたように話し、あばれた。(16:06)救急車にて来院。来院時は不穏が強かったが、すぐおとなしくなり、採血等もスムーズに行えた。	異-1-39
27	B05023789	6	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2006/01/24 2006/01/25	夕 朝	①2006/01/24 2006/01/27 ②2006/01/24	23:00—24:00 —	—	—	—	Yes	Yes	発熱持続	—	No	No	—	No	無	2006/1/24 (19:00頃)高熱の為受診し、タミフル、シロップ剤、アンヒバ坐剤処方あり。帰宅後食事し、タミフル(33mg/日)、シロップ剤服用。(20:00)就寝。(23~24:00)服用数時間後に隔離して寝かしている部屋から「布団が飛んでいる」と走って出てくる。母親がなだめ、睡眠する。幻覚症状発現。(不明)はいかい発現。 2006/01/25 (午前)朝食後タミフル(33mg/日)、シロップ剤服用させるが直後に嘔吐。熱39~40℃あり。本日は幻覚症状無し。(19:30)母親より幻覚症状についての電話が薬局にあり、本剤の副作用かインフルエンザによるものかどちらの可能性もある為、主治医へ詳しい幻覚症状について伝え、今後の対処方法を聞く様に伝える。(19:40)主治医へ電話し、本剤の副作用の可能性あるため服用中止の指示。また坐薬未使用のため、使用するよう指示あり。 2006/1/26 (9:00)薬局より母親へ様子確認の電話。坐薬使用後解熱し口数も増えてきたとのこと。今後も注意して様子見るように伝える。幻覚ない旨確認する。(10:00)受診し、フロモックス小児用細粒、シロップ剤処方あり。 2006/1/27 母親が薬局様子確認する。熱はなく普段通りに会話するものの「誰かがいる」と幻覚症状があるとのこと。インフルエンザ脳症の危険性を話し、受診を勧める。 2006/1/30 幻覚症状回復。(不明)はいかい回復。 2006/1/31 薬局より様子確認の電話を入れる。1/30より元気に通学し、幻覚等無い事を確認する。	異-1-52	
28	B06000186	6	年	男性	異常行動	2006/3/8	19:30	2006/3/8	23:20	○	Yes	①未記載 ②— ③—	3~4分	Yes	解熱過程	No	—	—	No	No	無	2006/1 インフルエンザA型発症。他院にてタミフル5日間内服。 不明「バーンバーンと音がする」という幻聴(3~4分/回)が服用中(5日間)続いた。(非重篤) 2006/3/8 (12:00)発熱を認め近医受診し、インフルエンザBがうつすらと出ていたため、本剤、抗生剤を併用で処方を受ける。(19:30)タミフル、抗生剤を内服(投与量不明)。(20:00)嘔吐1回(タミフルの副作用とは考えない)。(21:30)39℃台の高熱を認めアセトアミノフェン(坐薬)200mgを使用。(23:20)突然起き、「襲ってくる!」「来ないで!」「ここに入らなあかんねん」と言い、母親の足跡の間に自分の手指を入れたり、制止がきかない程暴れたり3~4分続き、その後、普通通りに戻った。近医に電話され、当科紹介となった。(37.6℃) 異常行動発現。(23:40)当科受診。意識清明、見当識障害なし。入院となった。 2006/3/9 (0:50)脳波検査を施行(異常なし)。インフルエンザ迅速診断テスト実施し陰性。(7:10)39.2℃、入眠中突然起き、「大きなポケモンが起きて起きてと言う」、「ポケモンあそこ(枕元)におる」その後は異常行動なし。(13:00)インフルエンザ再検し陰性確認(サンプル:鼻咽頭)。その後解熱し、脳波再検にて異常なし。 2006/3/10 (9:45)退院。	異-1-81	
29	B06006859	6	年	女性	①譫妄 ②異常行動	2005/12/19 2005/12/20 2005/12/21	昼過ぎ 昼過ぎ 14:00	2005/12/19 ①2005/12/20 ②2005/12/21	昼すぎ ①服用から1-2 時間後 ②16:00	×	No	—	2hr	Yes	発熱持続/ 解熱過程	No	No	No	No	No	無	①1-2時間して顔を真っ赤にして喋り続けたり、落ち着きなく動き回るようになった。 ②ドアに向かって「お父さん」と、いない父に対して話しかけたり、真っ暗な階段を昇っていきなり泣き出すようになった。周囲の状況がわからない様子だった。	異-1-85	